

ひょうごエコフェスティバル 2010

(ふれあいの祭典ーきらっと☆北摂フェスティバル)

平成 22 年 10 月 16 日 (土) ~17 日 (日)、三田市福島にある有馬富士公園で、「ふれあいの祭典ーきらっと☆北摂フェスティバル」が開催されました。この祭典では、「ひょうごエコフェスティバル 2010」もその中の一つとして開催され、当協会も参加しました。



エコフェスティバルへの参加は、例年通り、兵庫県環境整備課、(財)ひょうご環境創造協会資源循環部、兵庫県電機商業組合、当協会の 4 団体共同で行いました。実施した内容は、パネル展示及びそれに関するクイズ、廃棄物やリサイクル品等の展示です。パネルは各団体から持ち寄る形ですが、クイズの内容と合ったものを使うことで、4 団体共同で一つの内容を構成するようにしました。

クイズは各団体につき 1 問ずつの合計 4 問で構成されたもので、参加者にはガラガラによる抽選が出来るようになりました。1 等は乾電池のつかみ取り、その他の景品はエコバッグ、ボールペン、再生紙メモ帳、クリアファイル等で、参加者は抽選を楽しんで、景品を受け取っていました。

有馬富士公園は市街地にあるのではありませんが、両日ともに快晴に恵まれたこともあってか思いのほか来場者が多く、ふれあいの祭典は 2 日間で 73,000 人を迎える大盛況となりま

した。その祭典の一つであるエコフェスティバルは 2 日間で来場者数 15,000 人となり、当協会含む 4 団体共同ブースのクイズも、16 日は 742 人、17 日は 947 人、合計で 1,689 人に参加いただける盛況ぶりでした。



ブースへの来場者は、展示パネルと問題パネルとを熱心に見て、その答えを探して回答用紙に書き込んでいました。環境に対する意識を高めていただくために、問題自体は分かりやすく、そして環境問題への関心を持つきっかけとなるように展示等を配慮するよう努めました。また、不正解があった来場者は、担当者がその問題に関する展示パネルへと誘導して説明し、理解が得られるように努めました。このようなパネル展示とクイズの実施は、参加者が廃棄物やリサイクルの内容、必要性に関心を持つきっかけになり、そして理解を深める機会になったと感じられる時でした。

